

2024(令和6)年度 私立短期大学図書館協議会・全国総会 議事録(案)

■日時：2024年5月17日(金) 13:00~17:00

■会場：株式会社内田洋行 新川本社〈東京都中央区新川2丁目4番7号〉

■出席館：12館(21名) 委任状74館 合計86館

■司会：渡邊直子(千葉経済大学総合図書館)

■記録：高野聡(新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部図書館)

■資料配布：全国総会議案書、私立短期大学図書館協議会規約



総会成立確認

司会より協議会規約第11条に基づき、総会が成立したことが報告された。

会長挨拶

齊藤誠一会長(千葉経済大学短期大学部)より挨拶があった。

議長の選出

議長に河野洋子氏(香蘭女子短期大学図書館)が指名された。

記録人の指名・紹介

司会より、記録人として高野聡氏が指名された。

議題1. 2023年度事業報告

本部事務局の林浩次氏(前聖徳大学川並弘昭記念図書館)より、総会議案書に基づいて報告があった。

1) 会勢 102館(2024年3月31日現在)

北海道地区7館、東北地区13館、関東甲信越地区42館、東海・北陸地区10館、近畿地区11館、中国・四国地区2館(休会)、九州地区17館

入会館 なし

退会館 5館

【関東甲信越地区】2館

淑徳大学附属図書館東京図書館

星美学園短期大学図書館

【近畿地区】1館

京都文教短期大学図書館

【九州地区】2館

鹿児島純心女子短期大学図書館

九州龍谷短期大学図書館

入会 賛助会員(個人)

林 浩次氏

退会 賛助会員(個人)

吉岡肖治氏



- 2) 全国理事会（出席 16 名）
日時：2023 年 5 月 11 日（木）14：00～17：00
場所：林野会館
・2022 年度本部・地区の事業報告および 2023 年度総会議案を検討した。
- 3) 全国定期総会（会員館 102 館中 14 館参加、委任状 59 館、29 館未提出）
日時：2023 年 5 月 12 日（金）13：00～17：00
場所：機械振興会館 B3-2 会議室
議案：1. 2022 年度事業報告
2. 2022 年度決算報告および監査報告
3. 2023 年度新役員選出
4. 2023 年度事業計画案
5. 2023 年度予算案
・各担当から説明があり、審議の結果、それぞれ提案通り承認された。
講演：「短期大学図書館とアドボカシー」
講師：常世田良氏（日本図書館研究会理事・元立命館大学教授）
見学：機械振興協会経済研究所 BIC ライブラリ
- 4) 全国研修会（参加者 28 名）（関東甲信越地区と合同開催）
担当：毛利和弘名誉会長（近畿大学）
日程：2023 年 8 月 24 日（木）～25 日（金）2 日間
会場：神田外語大学附属図書館
テーマ：「広報も利用教育もお任せ！動画の活用法」
【1 日目】8 月 24 日(木) 13:00～17:00
(1) 基調講演「YouTube をはじめよう」
講師：長濱峻平氏（国際基督教大学図書館）
(2) 事例報告「オンライン動画の作成と活用法」
講師：吉野知義氏（神田外語大学）
講師：佐藤有妃氏（佐久大学図書館）
【2 日目】8 月 25 日(金) 10:00～14:45
(1) 討議：「皆で解決しよう現場の悩み事」
(2) 神田外語大学附属図書館見学会
- 5) 研究誌『短期大学図書館研究』第 43 号の刊行（2024 年 3 月）
木村修一理事（北海道武蔵女子短期大学）が担当した。
- 6) 広報（Web 公開）
「会報」No.78 の作成(2023 年 5 月) 前川和子理事（元大手前大学）が担当した。
ホームページ・メーリングリストの改訂とサイト保守・運用委託契約
委託先：エックスアマウント合同会社
『図書館年鑑』本協議会分の原稿を作成 本部広報高野聡が担当した。
- 7) 本部役員会 全 7 回開催（関東甲信越地区幹事会との合同開催）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Web 会議(Zoom ミーティング)とした。

議題 2. 2023(令和 5)年度決算報告および監査報告

本部会計の石田孝夫氏(前カリタス女子短期大学図書館)より、総会議案書に基づいて2023(令和 5)年度決算報告があった。また、2023 年度は「全国研修会」が開催されたため、決算報告が「二本立て」となっている旨説明があった。その後、監査人の今井智子氏(文化学園大学図書館)から「監査を行った結果、適正に処理されている」との報告があった。

※議長より議題 1・議題 2 について一括審議の提案があり、承認された。

議題 3. 2024 (令和 6) 年度新役員選出

本部事務局の林浩次氏より、総会議案書に基づいて 2024 (令和 6) 年度新役員 (案) の説明があった。

※議長より議題 3 について審議の提案があり、承認された。

議題 4. 2024 (令和 6) 年度事業計画案

本部事務局の林浩次氏より、総会議案書に基づいて説明があった。

- 1) 会勢 98 館(2024 年 4 月 1 日現在)
北海道地区 7 館、東北地区 13 館、関東甲信越地区 41 館、東海・北陸地区 10 館、近畿地区 10 館、中国・四国地区 2 館(休会)、九州地区 15 館
- 2) 全国理事会
日時：2024 年 5 月 16 日 (木) 14:00~17:00
会場：林野会館
- 3) 全国定期総会
日時：2024 年 5 月 17 日 (金) 13:00~17:00
場所：株式会社内田洋行 新川本社
記念講演会：「時代とともに変わる図書館への取り組み」
講師：有賀幸一氏 (株式会社内田洋行)
見学：株式会社内田洋行 新川本社
- 4) 全国研修会の対応について
2024 (令和 6) 年度の開催はない。
- 5) 研究誌『短期大学図書館研究』第 44 号の刊行
担当：木村修一理事
- 6) 広報
「会報」No.79 号の作成 担当：前川和子理事
ホームページ・メーリングリストの改訂とサイト保守・運用委託契約
委託先：エックスアマウント合同会社
バナー広告
『図書館年鑑』本協議会分の原稿作成 担当：本部広報高野聡
- 7) その他
特になし

議題 5. 2024（令和 6）年度予算案

本部会計石田孝夫氏より、総会議案書に基づいて説明があった。

その後、齊藤会長より 2023 年度全国研修会の予算残金 285,574 円の予算の残額について、「全国研修会の予算は関東甲信越地区からの拠出金も含まれているが、これまでの慣例に従い残金については関東甲信越地区には戻さずに、全国研修会の予算として本部で積み立てることとする。なお、この件については、午前中の関東甲信越地区総会で承認されている」旨の補足説明があった。

東海・北陸地区の大野照文理事より、この 285,574 円の半分を拠出した関東甲信越地区に戻さない理由について質問があり、齊藤会長から「関東甲信越地区から半分は全国研修会の予算の積み立てとすることを前提に、半分を本部予算の予備費に充当することについて承諾を得ている」旨の回答があった。

※議長より議題 4・5 について一括審議の提案があり、承認された。

議題 6. その他

齊藤会長より、加盟館の減少、本部の予備費も厳しくなる中、私短図協の運営の見直しが必要と問題提起があった。プロジェクトチームを結成し、「たたき台」を作りたい。全国理事会を臨時に開催し、「たたき台」を共有、改革案を作成する。2025 年度から改革に乗り出したいと提案があった。

東海・北陸地区の大野照文理事より、「非常に良い提案。規約を見ると「事業」の部分が争点となっている。第 4 条の目指すところを厳しい予算の中でも実行できる「改革案」を作る取り組みを進めていただくとありがたい」旨の発言があった。

【講演】 14：15～15：30

テーマ：「時代とともに変わる図書館への取り組み」

講師：有賀幸一氏（株式会社内田洋行）

内容：内田洋行に入社して 30 年が経つ講師の経歴を振り返りながら、図書館とそのサポートを目指した有賀氏たちの過去・現在・未来について考える内容であった。2000 年以降のパソコン、インターネット、RFID タグ等の新技術を活用した製品の開発と販売、2011 年の東日本大震災で被災した図書館のサポート経験、現在の AI や SDGs に着目した製品の開発等、今後の図書館を考える上で示唆に富んだ講演であった。最後にデジタルの時代にあっても紙の本の良さは不変であり、これからも図書館でワクワクするような本や人との出会いと学びの環境を提供していきたいという想いを述べて、講演を締めくくられた。



【見学】 15：45～（自由解散）

株式会社内田洋行新川本社を見学し、内田洋行の図書館関係の製品等を紹介していただくだけでなく、実際に社員の方が働いているオフィスでの活用や取り組み事例についても紹介していただいた。